

大型綿菓子機 CA-120 ご使用ガイド

どなたでも上手に作っていただけるよう、写真付きでご案内しています



大型綿菓子機 CA-120

機械の仕様

型式	CA-120型（朝日産業）
サイズ	幅640 × 奥行640 × 高さ800mm
重量	14kg
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1.2kW（1200W）
能力	1分間に3～5本

各部の名称

上部カバー

一番上の円カバー

透明フード

側面のオレンジ透明カバー

ボウル（皿）

中央の大きな円形容器

回転釜

砂糖を入れる中心の金属部品

操作パネル

下部前面のパネル

ヒーターコントロール

温度・出力調整ダイヤル

アンペアメーター

パネル左側の表示窓

本体

下部の筐体

ご使用前の準備

- **用意するもの**：ザラメ砂糖、割り箸、綿菓子袋、ゴムベラ、スプーン
- **設置**：水平で安定した台の上に組み立ててください。風の強い場所は避けるか、風よけを設置してください。
- **電源**：消費電力が大きいため、必ず単独のコンセントから取ってください。延長コードを使う場合は**15A対応のもの**を使用してください。**タコ足配線・コードを巻いたままの使用は厳禁**です。

うまく作るためのひと工夫：使い始める前に、皿（ボウル）の内側に薄くサラダ油を塗っておくと、綿が同じ場所にこびりつきにくくなり、巻き取りやすくなります。

① 予熱1～2分

釜が温まらなると綿は出ません

② ザラメ20g

スプーン2杯分が1人前

③ ふんわり巻く

箸は外周で大きく回す

使い方の手順



アンペアメーター（左）と
ヒーターコントロール（右）

1 電源を入れて予熱する

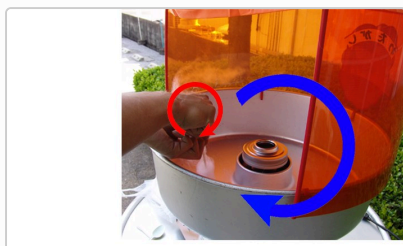
電源コードを直接コンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にします。
ヒーターコントロールを「7」に合わせ、アンペアメーターの針が「10～11」の間になっているか確認してください。なっていない場合はヒーターコントロールを微調整します。
そのまま1～2分ほど空転させて予熱します。



ザラメは釜の中心へ

2 ザラメを準備して投入する

予熱している間に、スプーンなどにザラメを約20g（スプーン2杯分）準備しておきます。
予熱が終わったら、回転している釜の中にザラメを入れてください。
※多少ザラメが飛び散ることがありますので、顔を近づけすぎないようにご注意ください。



綿が出始めたら巻き取り開始

3 綿を巻き取る

綿が出始めたら、割り箸で巻き取っていきます。
割り箸を回しやすい方向に回転させながら、釜の周りを大きくかき回して巻き取ってください。
箸を皿に沿って大きく回さず一箇所で回しても綿菓子はできますが、皿に沿って大きく回した方が本当にふんわりとしておいしく仕上がります。



ふんわり大きな綿菓子の完成

4 完成・繰り返し

1本できたら、同じ要領でザラメを追加して繰り返します。
綿が出なくなったらスイッチを切ってください。連続で作るときはスイッチを切らずに、ザラメを入れるところから同じ手順で続けて作れます。
色付きザラメも同じ方法で作れます。色付きザラメを使って釜の網目にコゲが出てきたら、ヒーターコントロールを少し下げてください。

💡 すぐ使う方向けのひとことメモ

- 皿にサラダ油を薄く塗る → 綿がこびりつきにくくなる
- まず1～2分予熱 → ヒーター「7」、メーター「10～11」
- ザラメは1回スプーン2杯（20g）まで → 大量投入は故障のもと
- 箸は皿の縁に沿ってふんわり回す → ふんわり大きく仕上がる
- 網目のコゲはヒーターを下げる、こびりつきは水で飛ばす
- 風を避ける、手は釜に入れない、子どもだけで使わない

上手に作るコツ・失敗しないために

こうすると上手に作れます

- 箸は外周付近でふんわり回す。釜の真上ではなく、皿の縁に沿うようにクルクル回すと大きく綺麗に仕上がります。
- 箸先を少し湿らせると綿が絡みやすくなります。
- 予熱はしっかり1~2分。釜が十分に温まっていないと綿は出てきません。
- ザラメは少量ずつ。1回あたりスプーン2杯（約20g）が目安です。たくさん入れても綿は増えず、機械の故障につながりません。
- 湿気たザラメは出にくい。開封後は密閉して保管してください。
- 風を避ける。風があると綿が飛び散って巻き取れなくなります。屋外では風よけを設置してください。

色付きザラメを使うとき

- 作り方は普通のザラメと同じです。
- 使っているうちに釜の網目にコゲが出てきたら、ヒーターコントロールを少し下げてください。コゲの色が綿菓子につくのを防げます。

網目にザラメがこびりついたとき

機械が始動している状態（回転中）で、釜に水を入れてください。水が網目についたザラメを溶かして飛び散らせ、網目がきれいになります。電源を切った状態で水を入れるのは絶対にやめてください。

大量に作る場合の備え

- 綿あめが顔・髪・服に飛んできますので、エプロンや三角巾、頭巾などを用意しておくとう安心です。
- 長時間連続で使うときは、ときどき様子を見て網目の状態を確認してください。

安全上のご注意

⚠️ 必ずお守りください

- タコ足配線は絶対に禁止。発火や故障の原因になります。必ず単独のコンセントを使用してください。
- コードを巻いたままの使用は禁止。発熱の原因になります。延長コードを使う場合も、コードは伸ばした状態で使ってください。
- 回転中の釜には絶対に手を入れない。ヒーターは高温で、火傷の危険があります。
- ザラメは必ず1人分（20g）ずつ。大量に投入すると回転釜がブレて心棒が曲がり、故障の原因になります。
- 回転が止まっているときにザラメを入れない。同じく心棒が曲がる原因になります。必ず回転中に投入してください。
- 子どもだけの操作は禁止。必ず大人が付き添ってください。
- 濡れた手で電源スイッチやコードに触らない。感電の恐れがあります。

トラブル対応

症状	確認・対応方法
電源を入れても動かない	<ul style="list-style-type: none">・コンセントがしっかり差し込まれているか確認・ブレーカーが落ちていないか確認・他の家電と同じ系統で使っていないか確認（タコ足配線NG）
綿が出てこない／出が悪い	<ul style="list-style-type: none">・1～2分以上きちんと予熱したか確認・ヒーターコントロールが「7」、アンペアメーターが「10～11」になっているか確認・ザラメの量が多すぎないか（1回スプーン2杯まで）・風が強い場所では風よけを設置
綿が小さい／短い	<ul style="list-style-type: none">・巻き取り方を確認（皿の縁に沿ってふんわり回す）・予熱状態を確認・ザラメが湿気ていないか確認
網目にコゲが出てきた	<ul style="list-style-type: none">・ヒーターコントロールを少し下げてください（特に色付きザラメ使用時）
網目にザラメがこびりついた	<ul style="list-style-type: none">・回転している状態のまま、釜に少量の水を入れてください。水がザラメを溶かして飛ばしてくれます
回転釜から異音・振動がする	<ul style="list-style-type: none">・直ちに使用を中止してください・ザラメの入れすぎ、または停止中の投入による心棒のゆがみの可能性があります・ジャストまでご連絡ください
焦げ臭いにおいがする	<ul style="list-style-type: none">・直ちに電源を切り、コンセントを抜いてください・釜内に砂糖の固まりが残っていないか確認・改善しない場合はジャストまでご連絡ください
使用中にブレーカーが落ちる	<ul style="list-style-type: none">・他の機器と同じ回路で使用していないか確認・延長コードの容量不足の可能性（15A対応のものを使用）・単独のコンセントから使用してください

使用後の清掃・片付け

故障の大半は回転釜まわりで発生します。ご使用後は必ず以下の手順でお手入れをお願いします。

1. 電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜きます。
2. 機械が完全に冷めるまで**30分以上待ちます**。
3. 回転釜の内側に固まった砂糖を、ゴムベラやスプーンで丁寧に取り除きます。
4. 本体外側は**固く絞った布で拭き取ってください**。
5. ※**水洗いや本体への直接の水かけは絶対に禁止です**。感電・故障の原因になります。

砂糖が固まったまま放置すると、次回使用時に回転釜が回らなくなる、ヒーターが焼けるなどの故障につながります。使用後は必ずその日のうちにお手入れをお願いします。

お問い合わせ

ご使用中に異常を感じた場合や、ご不明な点がございましたら、お気軽にジャストまでご連絡ください。当日の対応が必要な場合は、お電話でのご連絡をお願いします。